

教科用図書調査報告書

甲府市教科用図書採択審議委員会

1 種目 美術

2 報告概要

教科書名 出版社名	特 徴
美術1 美術1資料 美術2・3 光村図書	<p>□構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1、2・3の2冊の教科書と1年資料集が別冊である。 ・1年で身の回りの美しいものから美術の見方・考え方にふれ導入につなげている。内容構成は、自然物の素描、人物、風景、水墨、抽象、造形、版画、写真、デザインとなっている。 ・2・3年は、心象風景、空想画、日本画の特集、彫刻、漫画・アニメ、ポスター、映像、生活のデザインで構成されている。 <p>□観点との関係</p> <p>（1）表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近なものを具体的に数多く紹介することで、自分の身の回りのデザインされているものに気づくことができる。 ・カラーハンティングなど、生活と色の結びつきが美しくわかりやすくまとめられている。 ・イラストの生徒たちが参考となる意見を述べていて、考えを広げる手立てとなっている。 <p>（2）個性を生かして活動することができるよう配置されており、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・題材へのアプローチの鑑賞が充実していて、興味をもって取り組める工夫がある。 ・題材に応じて「point」が示されていて、そこからさらに自分らしい発想を広げたり、別の視点から考えたりするきっかけになっている。 ・他の教科とのつながりなどを紹介している。 <p>（3）「A表現」「B鑑賞」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるように配置されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料が一覧になっており、コードから動画視聴できることで、振り返りや課題解決に結びつくなど、デジタルコンテンツが充実している。 ・学びの目標が示されていて、どのような学習を行うのか見通しを持って学習ができる。 ・どう見たらいいのだろう→どう表現したらいいのだろうとつながりがあり、みることと創作することが表裏一体であることが自然と理解できる。 ・全国の生徒作品や作者のコメントが挙げられていて、様々な作品に触れやすい。また、作品にコメントなどの書き込みができたり、細かいところまで鑑賞できたり作品に親しみやすい。 <p>（4）表記や表現が適切であり、各ページの資料や紙面のデザインなどが学習意欲を喚起するように配置されているか。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・作品や資料の写真が大きく視覚的にわかりやすく紹介されており、細部までよく見ることができる。 ・美術1の資料が別冊になっていて、材料や用具の使い方などがまとまっているので見やすい。 ・説明文を極力少なくし、題材ごとのポイントとなる目標が、明確になるようにされている。
<p>美術1 美術との出会い 美術2・3 上 学びの実感と深まり 美術2・3 下 学びの探求と未来</p> <p>日本文教出版</p>	<p>□構成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1、2・3上、2・3下の3冊。1美術との出会い、2・3上学びの実感と深まり、2・3下学びの探求と未来の3段階で学年の発達段階に分けて編集されている。 ・1年で美術との出会い、3年間の美術の学びを紹介している。内容構成は、素描、身近な物の造形、風景、人物、版画、水墨、デザインと工芸（木彫・陶芸）、後半に技術的な資料集を掲載。2・3年で、写真、日本の伝統工芸、デザイン、自画像、漫画、空想画、抽象造形、暮らしのデザインとなっている。 <p>□観点との関係</p> <p>（1）表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの題材で造形的な視点を示している。最初に、3年間の学びのイメージをつくるページと、身につけたい美術の見方・考え方について、しっかりと学ぶページがある。 ・学びの目標が具体的で、既習事項が示されている。小学校で学んだこととスムーズにつなげやすい。 ・活動がしやすく、学習が広がりやすい題材名をつけている。どんなところをイメージして活動していけばよいか、題材名からも振り返ることができる。 <p>（2）個性を生かして活動することができるよう配置されており、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の言葉が掲載されているため、作品に対する思いが伝わりやすい。生徒作品や生徒の活動風景写真が多く載っており、制作のヒントになりやすい。 ・身近なものの中にある美しいものに気づくような構成がされている。 <p>（3）「A表現」「B鑑賞」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるように配置されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学びの目標が3つのアイコンで示されていて、どのような学習を行うのか見通しをもって学習ができる。 ・導入のコンテンツは生徒が主体的に学べる構成であり、参考動画も用意され、学習を主体的に進めることができる。 <p>（4）表記や表現が適切であり、各ページの資料や紙面のデザインなどが学習意欲を喚起するように配置されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術の3年間を見越した、学びの出会い・実感・探求と未来のテーマに沿った写真が、表紙に使われている。 ・装丁を表と裏を合わせて一つの絵画や写真にすることで、造形的なインパクトが出ている。 ・作品の写真が全体的に小さく余白が多いため、文字情報が多く感じられ、個の想像力を妨げてしまうと思われる。
	<p>□構成</p>

<p>美術1 美術2・3 開隆堂</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1と2・3の二冊。 ・ 1年で図画工作から美術へのつながりを示している。内容構成は、素描、人物、抽象、版画、彫塑、日本文化鑑賞、デザイン、木彫、陶芸となっている。 ・ 2・3年で、風景画、自画像、空想画、水墨画、版画、漫画・アニメ、彫刻、ピトグラム、ポスター、映像、空間デザインの題材で構成されている。各題材間に、鑑賞作品を紹介している。後半に「学びの資料」として、表現の幅を広げる資料（SDGs含む）が掲載されている。 <p>□観点との関係</p> <p>（1）表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することができる内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの単元で、イラストのキャラクターが見方・考え方のヒントを語っているので、生徒は自然と味方・考え方を意識することができる。 ・SDGsに関する取り組みや作品を紹介している <p>（2）個性を生かして活動することができるよう配置されており、児童の生活や経験及び興味や関心に応じた内容であるか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ題材で複数の生徒作品を並べ比較できるように構成されているので、自分のイメージする表現の参考にできる。 <p>（3）「A表現」「B鑑賞」の構成・配列が適切であり、自主的な学習が進められるように配置されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関連するページの紹介があり、該当するページに戻って、道具や技法を確認することができる。デジタルコンテンツで自主的に学びを深めることができる。 ・学習の流れがわかりやすいようにまとめられている。ワークシートがあることで、気づきや思いをデジタル上に記録できる。 <p>（4）表記や表現が適切であり、各ページの資料や紙面のデザインなどが学習意欲を喚起するように配置されているか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表紙には、質感や筆跡を再現した立体的な加工が施された作品が掲載されており、指の触感で作品を味わうことができる。裏表紙の資料提供・協力のデザインが表紙とリンクしており造形的な遊び心を感じられる。 ・題材に応じて「注意」が示されていて、用具を使用する際の安全面や配慮事項が掲載されている。 ・全体的に見開きの教育効果が感じられない。特に1年最終の題材が見開きページにする必要がないと感じる。
------------------------------	---